

RHYTHM

デジタル電波時計 (掛／置兼用) 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
<http://www.rhythm.co.jp>

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1508)

おもな製品仕様

表示方式	LCD(液晶)
使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと
可読温度範囲	0～40℃ ^{※1}
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しないとき 平均月差±30秒 温度が5～35℃のときクォーツ精度
電源	リチウムボタン電池 CR2477 2個 ソーラー発電 薄膜太陽電池
電池寿命	ソーラー発電と併用 6年 ^{※2} 以上、電池単体で約5年
標準電波受信機能	標準電波を受信して日時を修正
受信局	福島局/九州局 自動選択
受信回数	2～3回/日
受信開始時刻	午前2:16:40と午後2:16:40、受信できないときは午前3:16:40にも行う
サーチ機能	電波の強弱表示
受信機能ON/OFF	あり
カレンダー表示	2008～2099年まで対応
温度表示範囲	-9.9～50℃
温度精度	±2℃
湿度表示範囲	20～95%RH 温度が5～50℃のとき %RHは相対湿度を表す。
湿度精度	±10%RH

○ソーラーセルは室内用ですので直接太陽光などの強い光を受けると性能が低下します。

○液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。

※1 液晶表示は0℃以下では薄くなったり、消えることがあります。40℃を超える黒くなる場合があります。温度が0～40℃になれば、元の状態に戻ります。

※2 ソーラー発電を1日に200ルクスで8時間行なったとき。

付属のボタン電池は工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短いことがあります。

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

お試用電池 2個 (内蔵)、木ねじ 1個、取付金具 1個、くぎ 4本、取扱説明書 本書、保証書 1枚

お問い合わせ先

(フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、型番「BRZ176」をお伝えください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止 (してはいけないこと) を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

● **誤飲を防止するため、小さな部品を幼児の手の届く所に置かない**

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

● **電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

● **電池から漏れた液に素手でさわらない**

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●液漏れしたときは、電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

● **電池の⊕⊖を正しく入れる**
けがや液漏れ、発熱、故障の原因になります。

● **下記のような場所では使わない**
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

● **強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。

●直射日光が当たる所。

●温度が+50℃以上の所。

●温度が-10℃以下の所。

●暖房機器からの風が当たる所。

●火気のそば。

●ほこりが多く発生する所。

●強い磁気が発生させる機器のそば。

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。

●プール、温泉場などガスの発生する所。

●調理場など多くの油を使用する所。

●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

○静電気により時計や壁が汚れることがありますので定期的に汚れを落としてください。

○汚れを落とすときは、乾いた柔らかい布でからぶきしてください。汚れが落ちにくいときは、水分をしっかりと切った柔らかい布で拭き取ってください。その後に水分が残らないように乾いた布でよく拭き取ってください。

● **注意** 誤った方法でお手入れをすると表面の色艶が変化したり、色落ちしたりするおそれがあります。次のことをお守りください。

- 表面を強くこすらない。
- 漂白剤や洗剤、化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類を使用しないでください。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

電波時計について

電波時計とは

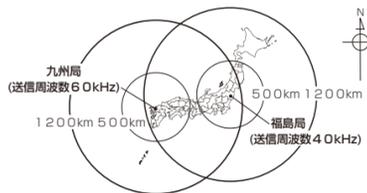
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。

ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jijy.nict.go.jp)



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

海外でのご使用になるときは、電波スイッチをOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

電源について……………ソーラー発電とボタン電池

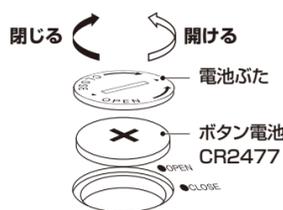
この時計は明るいところではソーラー発電で、暗いところではボタン電池で駆動します。ソーラー発電とボタン電池を併用することにより、電池寿命を6年以上[※]と長寿命化を図っています。

※1日に200ルクスの明るさで約8時間ソーラー発電する必要があります。

- ソーラー発電しても、ボタン電池への充電は行ないません。
- ソーラー発電のみでは動きません。必ずボタン電池を入れて使用してください。
- ソーラーセルに直射日光を当てるとソーラーセルが劣化し、発電効率が低下します。
- 表示が薄くなったり、暗いところで停止するときはボタン電池の交換が必要です。

ボタン電池の交換について

暗くなると表示が薄くなったり、消えるときはボタン電池の交換が必要です。



- 2つのボタン電池を交換してください。
 - ①電池ぶたの▲印を●OPEN位置に回して取り外す。
 - ②古い電池を取り出す。
 - ③新しい電池を+表示がある面を上にして入れる。
 - ④電池ぶたの▲印を●OPENから●CLOSEに回して取り付ける。
 - ⑤リセットを押してください。
- 電池ぶたを回すときはコインなどを使用してください。

危険 人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容

ボタン電池を飲み込むと短時間で化学やけど、粘膜組織の貫通などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。

ボタン電池は絶対に乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一、飲み込んだときは、直ちに医師に連絡して指示を受けてください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



ソーラーセル
光が当たると発電します。影になつたり、表面が汚れると発電効率が悪くなります。

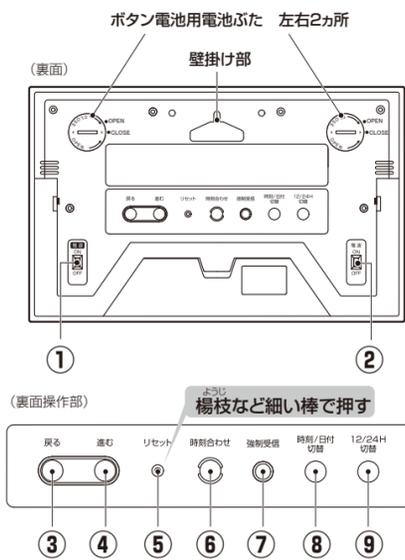
【参考】

照度環境の目安
150ルクス 一般的なリビング
300ルクス 明るいリビング内・オフィス
700ルクス 明るいオフィス
③寝室や窓のないところでは十分な明るさや受光時間が不足することがあります。

Q & A

- Q. なぜ電源スイッチがついているのか？
ボタン電池が消耗しないようにするためです。時計を使用しないときは、電源スイッチをOFFにしてください。
- Q. 暗くなると表示が消えて止まる。
ボタン電池が消耗したためです。新しいものに交換してください。
ソーラー発電は、ボタン電池に充電しません。

裏面 **ボタン電池の交換について** 参照



- ①電源スイッチ— ソーラー発電とボタン電池からの電力供給のON/OFFを切り替えます。
- ②電波スイッチ— ON：標準電波を受信する
OFF：標準電波を受信しない
- ③戻る— 手で日時を合わせるときに使用します。
- ④進む— 操作 押してすぐ離す 押し続ける
戻る 数値を1つ戻す 早戻し
進む 数値を1つ進める 早送り
- ⑤リセット— 電源スイッチをONにした直後に押しします。2008年1月1日、午前12:00にセットされます。
- ⑥時刻合わせ— 手で日時を合わせるときに使用します。
- ⑦強制受信— 押すと受信を開始します。
- ⑧時刻/日付— 時刻と日付の表示位置を入れ替えます。
- ⑨12/24H— 時刻の表示を12時間と24時間表示を切り替えます。12時間表示のときは午前または午後を表示します。

表示の切り替え

■ 時刻/日付優先表示切り替え

時刻/日付を押すと、時刻と日付の表示位置を切り替えることができます。



●電波を受信しているときや手で日時を設定しているときは、表示を切り替えることはできません。

温度と湿度の表示

本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度を反映するまでには時間がかかります。
 - 直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
 - 測定する高さによって温湿度に違いが出ることがあります。また、湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所では違いがでます。
- ※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。

測定範囲を超えたときの表示

温度 「HH.H」 50℃より高温
「LL.L」 -9.9℃より低温
湿度 「HH」 95%を超えている
「LL」 20%未満
「-」測定不能 (温度が5~50℃の範囲外)

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットを押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

年月日、時刻(時、分)でのボタン操作

点滅している数値を進むまたは戻るで合わせてから時刻合わせを押すと数値を確定して次に進みます。

- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
- 電波スイッチがONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

操作例 2016年12月25日 午前10:37に合わせる

- ①西暦年が点滅するまで時刻合わせを約2秒間押し続ける
- ②年を合わせる
- ③月を合わせる
- ④日を合わせる
- ⑤時を合わせる
- ⑥分を合わせる

分のときに、進むまたは戻るを押すと秒が00になる。
以上で設定が終わりました。

電波受信機能のON/OFF切り替え

電波スイッチをONにすると、定期的に受信を行い受信に成功すると日時を自動修正します。OFFにすると受信を行いませんので、日時の遅れ進みは手動で修正してください。

強制受信とリセット

- 強制受信は、場所を移動したときなどすぐに受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても継続して日時を表示します。強制受信は、手で時刻合わせをしているときは機能しません。
- リセットは、電源スイッチをONにした直後やボタン電池を交換した直後などに押しします。リセットを押すと2008年1月1日午前12:00にセットして、受信を開始します。
- 電波スイッチがOFFのときは、強制受信またはリセットを押しても受信を開始しません。

1. 使いはじめるとき 標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手で日時を合わせるときには **手動での時刻合わせ** をお読みください。
◎電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

【受信の流れと表示】



電源投入直後およびリセットを押した直後は、2008年1月1日、午前12:00に設定されます。

受信マークの変化

電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)
受信できない → 受信しやすい

受信マークが点灯

受信に成功すると受信マークが点灯

受信に失敗したときの表示例

- ①電源スイッチをONにする
液晶表示が点灯しないことがありますが、リセットを押すと点灯します。
 - ②電波受信スイッチをONにする
 - ③リセットを押す
受信マークが点滅し受信を開始します。
 - ④受信結果を確認する
受信は最長で約20分行います。受信マークで受信結果を確認してください。
☞【受信の流れと表示】参照
- ◎受信中はボタンやスイッチに触れないでください。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、受信できなかったり、誤った日時を表示することがあります。場所を変えてからリセットを押して再度受信を試みてください。

チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットを押して再度受信を開始させてください。

表示の切り替え

■ 時刻/日付優先表示切り替え

時刻/日付を押すと、時刻と日付の表示位置を切り替えることができます。



●電波を受信しているときや手で日時を設定しているときは、表示を切り替えることはできません。

温度と湿度の表示

本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度を反映するまでには時間がかかります。
 - 直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
 - 測定する高さによって温湿度に違いが出ることがあります。また、湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所では違いがでます。
- ※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。

測定範囲を超えたときの表示

温度 「HH.H」 50℃より高温
「LL.L」 -9.9℃より低温
湿度 「HH」 95%を超えている
「LL」 20%未満
「-」測定不能 (温度が5~50℃の範囲外)

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットを押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

年月日、時刻(時、分)でのボタン操作

点滅している数値を進むまたは戻るで合わせてから時刻合わせを押すと数値を確定して次に進みます。

- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
- 電波スイッチがONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

操作例 2016年12月25日 午前10:37に合わせる

- ①西暦年が点滅するまで時刻合わせを約2秒間押し続ける
- ②年を合わせる
- ③月を合わせる
- ④日を合わせる
- ⑤時を合わせる
- ⑥分を合わせる

分のときに、進むまたは戻るを押すと秒が00になる。
以上で設定が終わりました。

電波受信機能のON/OFF切り替え

電波スイッチをONにすると、定期的に受信を行い受信に成功すると日時を自動修正します。OFFにすると受信を行いませんので、日時の遅れ進みは手動で修正してください。

強制受信とリセット

- 強制受信は、場所を移動したときなどすぐに受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても継続して日時を表示します。強制受信は、手で時刻合わせをしているときは機能しません。
- リセットは、電源スイッチをONにした直後やボタン電池を交換した直後などに押しします。リセットを押すと2008年1月1日午前12:00にセットして、受信を開始します。
- 電波スイッチがOFFのときは、強制受信またはリセットを押しても受信を開始しません。

1. 使いはじめるとき 標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手で日時を合わせるときには **手動での時刻合わせ** をお読みください。
◎電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

【受信の流れと表示】



電源投入直後およびリセットを押した直後は、2008年1月1日、午前12:00に設定されます。

受信マークの変化

電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)
受信できない → 受信しやすい

受信マークが点灯

受信に成功すると受信マークが点灯

受信に失敗したときの表示例

- ①電源スイッチをONにする
液晶表示が点灯しないことがありますが、リセットを押すと点灯します。
 - ②電波受信スイッチをONにする
 - ③リセットを押す
受信マークが点滅し受信を開始します。
 - ④受信結果を確認する
受信は最長で約20分行います。受信マークで受信結果を確認してください。
☞【受信の流れと表示】参照
- ◎受信中はボタンやスイッチに触れないでください。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、受信できなかったり、誤った日時を表示することがあります。場所を変えてからリセットを押して再度受信を試みてください。

チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットを押して再度受信を開始させてください。

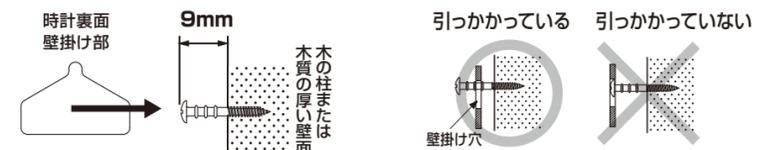
2. 設置について

掛 注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 掛け部以外のところに掛けしないでください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

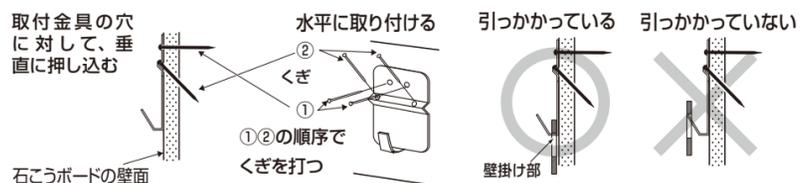
- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
 - 取付金具は下図のとおり、付属のくぎ4本でしっかり固定してください。
- ※壁の材質、取り付けかたを確認の上で使用ください。
※取付金具を傾けて取り付けると、時計が傾いてしまいますので、注意してください。
※くぎは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
※取付金具には、3.5kg以上のものを掛けしないでください。

取り付けの手順



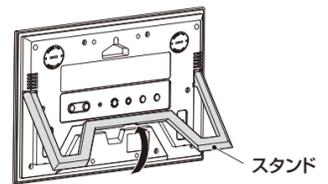
その他の壁面の場合

- 上記以外のコンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

置

置時計としてご使用になるときは、スタンドを図のようにしてください。

- ※無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。
- ※水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。



静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このときはリセットを押してください。